

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-338034

(43)Date of publication of application : 10.12.1999

(51)Int.Cl.

G03B 17/18  
G03B 17/56  
H04N 5/225

(21)Application number : 10-141148

(71)Applicant : FUJI PHOTO FILM CO LTD

(22)Date of filing : 22.05.1998

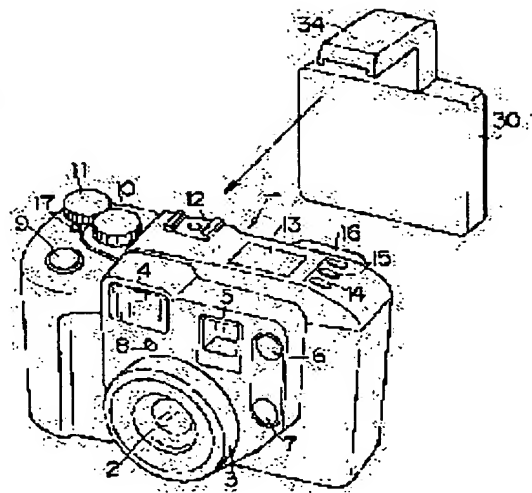
(72)Inventor : MISAWA MITSUFUMI

## (54) MONITOR DEVICE AND CAMERA PROVIDED THEREWITH

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To attach a monitor main body to a camera main body without making a camera larger by arranging the monitor main body along the back surface part of the camera main body at the time of attaching it to the camera main body by means of a monitor attaching part.

SOLUTION: A monitor unit 30 is formed like a rectangular panel and has a transmission type liquid crystal display surface on its surface. An attaching arm 34 formed in inverted L-shape is integrally molded on the upper part of the unit 30, and an attachment to be attached to an accessory shoe 12 provided on the camera main body 1 is provided at the lower part of the tip of the arm 34. The attachment is formed to be protruded so as to be fit to the groove shape of the accessory shoe 12. By sliding and inserting the attachment in the accessory shoe 12, the monitor unit 30 is attached to the back surface part of the camera main body 1.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

# BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-338034

(43) 公開日 平成11年(1999)12月10日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup> 識別記号

G 0 3 B 17/18  
17/56  
H 0 4 N 5/225

F I

G 0 3 B 17/18  
17/56  
H 0 4 N 5/225

Z  
J  
B  
F

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 8 頁)

(21) 出願番号 特願平10-141148

(22) 出願日 平成10年(1998) 5 月22日

(71) 出願人 000005201

富士写真フイルム株式会社  
神奈川県南足柄市中沼210番地

(72) 発明者 三沢 充史

埼玉県朝霞市泉水3丁目11番46号 富士写真フイルム株式会社内

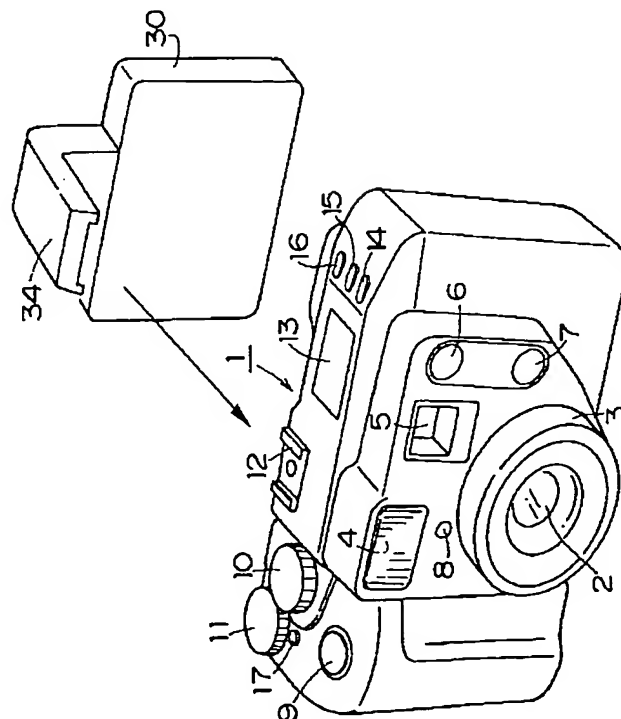
(74) 代理人 弁理士 松浦 憲三

(54) 【発明の名称】 モニタ装置及びモニタ装置付きカメラ

(57) 【要約】

【課題】 大型化を伴わずにカメラに装着することができるモニタ装置を提供する。

【解決手段】 カメラ本体1の上面に設けられたアクセサリシュー12に、モニタユニット30の取付アーム34に備えられたアタッチメントを差し込むことにより、モニタユニット30がカメラ本体1の背面部に装着される。



#### 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 カメラ本体からの画像信号に基づいて画像を表示するモニタ本体と、

前記モニタ本体に設けられたモニタ取付部であって、前記カメラ本体に備えられたシュー又は前記カメラ本体に設けた取付用スリットに差し込まれて装着されるモニタ取付部と、からなり、

前記モニタ本体は、前記モニタ取付部によるカメラ本体への装着時にカメラ本体の背面部に沿って配置されることを特徴とするモニタ装置。

【請求項 2】 前記モニタ本体は、前記モニタ取付部がカメラ本体側の取付部に装着されると、カメラ本体と電気的に接続されることを特徴とする請求項 1 記載のモニタ装置。

【請求項 3】 前記モニタ本体は、モニタ取付部に対して回動自在に配設されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載のモニタ装置。

【請求項 4】 請求項 1、2 又は 3 記載のモニタ装置と、該モニタ装置の取付けが可能なモニタ取付部を有するカメラとからなるモニタ装置付きカメラ。

#### 【発明の詳細な説明】

##### 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はモニタ装置及びモニタ装置付きカメラに係り、特にカメラに着脱自在に装着されるモニタ装置と、そのモニタ装置を備えたモニタ装置付きカメラに関する。

##### 【0002】

【従来の技術】カメラの撮影範囲を示すビューファインダには、光学式と液晶表示式の二通りの方式がある。光学式ビューファインダは、撮像レンズに入射した光の一部を光学系を通して、撮影者に被写体の虚像を見せるものであり、液晶式ビューファインダは、撮像レンズに入射した光を CCD 素子などの撮像素子により画像信号に変換した後、液晶表示板により映像に変換し、この映像を拡大レンズで撮影者に見せていた。

【0003】しかし、上記の何れの方式においても、撮影者はビューファインダの接眼レンズを覗き込んで被写体を確認する必要がある、ビューファインダを覗くことに慣れていない者にとっては不便であった。そこで、従来は上記のような不具合を解消するために、カメラ本体に市販の液晶モニタを取り付け、この液晶モニタにレンズ部の撮像素子で変換された画像信号を表示する方法が採られていた。

##### 【0004】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、カメラ本体に市販の液晶モニタを取り付けるとカメラ本体の上部に液晶モニタが起立した形となるため、カメラ全体が大型になり、カメラの操作性、携帯性が悪くなるという欠点があった。本発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、大型化を伴わずにカメラに装着することが

できるモニタ装置及びモニタ装置付きカメラを提供することを目的とする。

##### 【0005】

【課題を解決するための手段】本発明は前記目的を達成するために、カメラ本体からの画像信号に基づいて画像を表示するモニタ本体と、前記モニタ本体に設けられたモニタ取付部であって、前記カメラ本体に備えられたシュー又は前記カメラ本体に設けた取付用スリットに差し込まれて装着されるモニタ取付部と、からなり、前記モニタ本体は、前記モニタ取付部によるカメラ本体への装着時にカメラ本体の背面部に沿って配置されることを特徴とする。

【0006】本発明によれば、モニタ本体に設けられたモニタ取付部をカメラ本体に備えられたシュー又はカメラ本体に設けた取付用スリットに差し込むと、モニタ本体がカメラ本体の背面部に沿って配置される。これにより、大型化を伴わずにモニタ本体をカメラ本体に装着することができる。

##### 【0007】

【発明の実施の形態】以下添付図面に従って本発明に係るモニタ装置及びモニタ装置付きカメラの好ましい実施の形態について詳説する。図 1、図 2 は、それぞれ本発明が適用されたデジタルカメラの正面斜視図と背面斜視図である。

【0008】同図に示すように、前記デジタルカメラは、カメラ本体 1 とモニタユニット 30 とから構成されている。まず、カメラ本体 1 の構成について説明する。図 1 に示すように、カメラ本体 1 の正面中央部には、撮影レンズ 2 が組み込まれたレンズ鏡胴 3 が取付けられている。撮影レンズ 2 の上方にはストロボ窓 4、ファインダー窓 5 が形成されており、該ファインダー窓 5 の右側には AF 投光窓 6、AF 受光窓 7 が上下に並んで設けられている。尚、符号 8 はストロボ調光センサーである。

【0009】前記撮影レンズ 2 はズームレンズで構成され、カメラ本体 1 の背面に設けられたズームレバー 20（図 2 参照）の操作に応じて焦点距離を変更できるようにされている。そして、この撮影レンズ 2 に入射した光が、カメラ本体 1 に内蔵された図示しない撮像素子（MOS、CCD 等）により画像信号に変換される。前記ファインダー窓 5 の内側には、詳しくは図示されていないが、対物系レンズを構成する移動レンズ群が配置されており、前記撮影レンズ 2 の焦点距離の変更に連動して移動レンズが駆動される光学式ズームファインダーが構成されている。

【0010】前記 AF 投光窓 6 の内側には赤外線発光ダイオード等の投光手段が設けられ、前記 AF 受光窓 7 の内側にはフォトダイオード等の受光素子を含む受光手段が配設されている。そして、これら投光手段と受光手段とで被写体までの距離を測定する測距部が構成される。この測距部は、例えば三角測量の原理に基づいて被写体

までの距離を求め、その結果はオートフォーカス制御に利用される。

【0011】カメラ本体1の上面にはレリーズボタン9、モードダイヤル10、アップ/ダウンダイヤル11、アクセサリシュー12、液晶表示パネル13が設けられ、液晶表示パネル13の左側部には、前から順にストロボボタン14、消去ボタン15、マクロボタン16が並んで設けられている。モードダイヤル10は、正/逆両方向に回転自在に設けられており、このモードダイヤル10のダイヤル設定位置によってカメラ本体1の機能が変更する。例えば、回転動作のクリック停止位置毎に「OFF」-「AUTO」-「SETUP」-「P」-「S」-「A」-「M」-「PC」-「PLAY」と9段階に順にモードが変更され、「PLAY」の次には「OFF」に戻ってダイヤルが1回転する。

【0012】「OFF」は、カメラを使用しない場合に設定するモードであり、このモード下ではカメラ本体1の電源がオフされる。「AUTO」は、自動撮影を行う場合に設定されるモードであり、このモード下ではAF（オートフォーカス）及びAE（自動露出制御）が有効に機能し、撮影者はレリーズボタン9を押すだけで、他に特別な操作をすることなく撮影を行うことができる。

【0013】「SETUP」は、日付、時刻、感度補正、圧縮モード等の各種設定を行うためのモードであり、このモード下で設定すべき項目毎に液晶表示パネルの表示を確認しながらアップ/ダウンダイヤル11及び後述するセットボタン23（図2）を操作して所望の設定入力を行う。「P」はプログラムAE、「S」はシャッター優先、「A」は絞り優先、「M」はマニュアル露出の撮影モードの設定を行う位置である。これらの各撮影モードにおけるプログラム選択、シャッター速度設定、絞り値設定等は、アップ/ダウンダイヤル11及びセットボタン23を操作して所望の入力を行う。

【0014】「PC」は、カメラ本体1とパソコンを専用ケーブルで接続して画像データの送受信を行うモードである。「PLAY」は、撮影済の画像を再生する時に設定するモードであり、1コマ再生、ダイレクト再生が可能となる。なお、この撮影した画像を再生するためにはモニタユニット30が必要となるが、このモニタユニット30のカメラ本体1への装着については、後に更に詳述する。

【0015】前記液晶表示パネル13は、設定された各種スイッチの状態やバッテリー残量、メモリーの使用状況等を表示する。また、前記ストロボボタン14は、撮影モードでストロボの使用の有無を設定するボタンであり、前記消去ボタン15はメモリーカードに記憶された画像データを消去するボタンである。

【0016】カメラ本体1の背面には、図2に示すように、ズームレバー20が設けられており、このズームレバー20を上下させることで撮影レンズ2の焦点距離を

長焦点側（テレ）又は短焦点側（ワイド）に変更する。カメラ本体1の背面左上隅部にはファインダーの接眼部22が形成されており、該接眼部22は撮影画角とほぼ等しい視野を観察することができるように構成されている。

【0017】接眼部22の左横には、セットボタン23とAF/MFボタン24が上下に並んで設けられている。ここで、セットボタン23は、前述したようにアップ/ダウンダイヤル11と組み合わせて各種入力設定時に使用するボタンであり、AF/MFボタン24は、オートフォーカスとマニュアルフォーカスとを選択するボタンである。このAF/MFボタン24でオートフォーカス（AF）が選択されている場合には、レリーズボタン9の押し操作に呼応して前述の測距部によって被写体距離が測定され、被写体距離に応じたピント位置に撮影レンズ2が合焦移動される。一方、マニュアルフォーカス（MF）が選択されている場合には、セットボタン23とアップ/ダウンダイヤル11とを操作して入力設定した被写体距離に応じたピント位置に撮影レンズ2が合焦移動される。

【0018】カメラ本体1の右側面部分には、メモリーカードカバー25がヒンジ26を介して開閉自在に設けられている。メモリーカードは、このメモリーカードカバー25を開放して、カメラ本体1内に形成された装填室に装填する。なお、装填室にメモリーカードが装填されているか否かは、カメラ本体1の背面中央に形成された透明なメモリーカード確認窓27から確認することができるになっている。

【0019】次に、モニタユニット30の構成について説明する。図1、図2に示すように、モニタユニット30は、矩形のパネル状に形成されており、その表面に透過型の液晶表示面32を有している。このモニタユニット30の上部には、逆L字状に形成された取付アーム34が一体成形されており、該取付アーム34の先端下部には前記カメラ本体1に設けられたアクセサリシュー12に取り付けられるアタッチメント36が設けられている。このアタッチメント36は、図4に示すように、アクセサリシュー12の溝形状に合致する凸字状に形成されており、このアタッチメント36を前記アクセサリシュー12にスライドさせて差し込むことにより、モニタユニット30がカメラ本体1の背面部に装着される。

【0020】ここで、前記アクセサリシュー12とアタッチメント36には、それぞれ図示しない端子が設けられており、前記アタッチメント36をアクセサリシュー12に差し込むことにより、互いの端子同士が接続される。そして、この互いの端子が接続されることにより、前記カメラ本体側からモニタユニット30に電源が供給されるとともに画像信号が伝送され、その画像信号に基づく画像がモニタユニット30の液晶表示面32上

に表示される。

【0021】以上のように構成されたデジタルカメラの作用は次の通りである。このデジタルカメラでは、カメラ本体1に備えられている光学式ズームファインダーを使用して撮影を行うこともできるし、また、カメラ本体1にモニタユニット30を装着して撮影を行うこともできる。このため、次のような使用方法が採ることができる。

【0022】すなわち、たとえば、明るい場所で撮影を行うような場合は、液晶表示ではモニタが見にくくなるので、モニタユニット30を取り外して光学式ズームファインダーを使用して撮影を行う。また、光学式ズームファインダーの接眼部22を覗き込みながら撮影した方が手振れなく撮影を行うことができるので、しっかりと撮影したい場合には、モニタユニット30を取り外して光学式ズームファインダーで撮影を行う。

【0023】また、モニタユニット30を使用するとバッテリーの消耗が激しいので、省電力で撮影を行いたい場合は、モニタユニット30を取り外して光学式ズームファインダーで撮影を行う。一方、目からカメラ本体1を離して撮影したい場合や、ファインダーを覗くことに慣れていない者が撮影するような場合、二人以上でモニタを見ながら撮影するような場合は、カメラ本体1にモニタユニット30を装着し、モニタユニット30の液晶表示面32を見ながら撮影を行う。

【0024】この際、モニタユニット30は、図1及び図2に示すように、カメラ本体1の上部に設けられたアクセサリシュー12に、取付アーム34の先端下部に設けられたアタッチメント36をスライドさせて差し込むことにより装着する。これにより、図3に示すように、モニタユニット30がカメラ本体1の背面部に一体的に装着される。そして、これと同時にモニタユニット30がカメラ本体1と電氣的に接続され、カメラ本体1内の撮像素子で変換された画像信号に基づく画像が液晶表示面32上に表示される。

【0025】また、撮影済の画像を再生する場合も、このモニタユニット30をカメラ本体1に装着して行う。これにより、撮影結果をその場で確認することができる。このように、本実施の形態のデジタルカメラでは、撮影者の目的に応じてモニタユニット30を使用することができ、その際、モニタユニット30をカメラ本体1に装着しても、カメラ本体1の背面に一体的に取り付けられるので大型化せず、操作性、携帯性に不便をきたすこともない。

【0026】また、その取り付けもアクセサリシュー12にアタッチメント36を差し込むだけという簡単な方法で取り付けることができる。なお、本実施の形態では、カメラ本体1にモニタユニット30を装着すると、同時にカメラ本体1とモニタユニット30とが電氣的に接続される構成としているが、図5に示すように、ケー

ブル38を介してモニタユニット30とカメラ本体1とを電氣的に接続してもよい。これにより、カメラ本体1とモニタユニット30とを分離させた状態でモニタユニット30を使用して撮影することもできるようになる。

【0027】また、本実施の形態では、カメラ本体1の上部に設けられたアクセサリシュー12にモニタユニット30の上部に設けられたアタッチメント36をカメラ本体1の背面側から水平に差し込むことにより、モニタユニット30をカメラ本体1の背面部に装着するようにしているが、モニタユニット30の装着方法は、これに限定されるものではない。例えば、図6に示すように、カメラ本体1の背面上部にスリット12Aを設けるとともに、モニタユニット30の背面部にこのスリット12Aに嵌合するアタッチメント36Aを設け、カメラ本体1の背面上方からアタッチメント36Aをスリット12Aに差し込むことにより、モニタユニット30をカメラ本体1に装着するようにしてもよい。

【0028】また、本実施の形態では、モニタユニット30の液晶表示面34には透過型液晶が使用されているが、反射型液晶を使用してもよい。図7は、本発明が適用されたデジタルカメラシステムの第2の実施の形態の構成を示す説明図である。なお、上述した第1の実施の形態のデジタルカメラと同一又は類似部材には同一符号を付している。

【0029】同図に示すように、第2の実施の形態のデジタルカメラシステムは、種々のアクセサリキットをカメラ本体1に取り付けることができるように構成されている。カメラ本体1の上部には、アクセサリシュー12とホットシュー40が設けられており、アクセサリシュー12には、電子ビューファインダー42、2インチLCDモニタ44及び4インチLCDモニタ46を選択的に装着できるようにされている。また、ホットシュー40にはストロボ48を装着することができるようにされている。

【0030】ここで、前記電子ビューファインダー42は、内部に図示しない小型の液晶表示板(LCD)とバックライト及び接眼レンズを備えており、アイカップから覗くことにより被写体像を確認することができるように構成されている。そして、下部に備えられた図示しないアタッチメントをカメラ本体1に備えられたアクセサリシュー12に差し込むことにより、カメラ本体1の上部に装着される。

【0031】前記2インチLCDモニタ44は、上述した第1の実施の形態のモニタユニット30と略同じ構成を有しており、表面に図示しない透過型の液晶表示面を備えている。そして、上述した第1の実施の形態のモニタユニット30と同様に、取付アーム44Aに備えられた図示しないアタッチメントをカメラ本体1に備えられたアクセサリシュー12に差し込むことにより、カメラ本体1の背面部に装着される。

【0032】前記4インチLCDモニタ46は、上記の2インチLCDモニタ44と比べて画面サイズが2インチから4インチへと大型になっている。また、モニタ本体46Aが取付アーム46Bに対してヒンジ46Cで支持されているため、カメラ本体1に取り付けると、モニタ本体46Cを自由な角度に傾斜させることができるように構成されている。なお、カメラ本体1への取り付けは、上記の2インチLCDモニタ44と同じである。すなわち、取付アーム46Bに備えられた図示しないアタッチメントをカメラ本体1に備えられたアクセサリシュー12に差し込むことにより、カメラ本体1の背面部に装着する。

【0033】なお、本実施の形態では、4インチLCDモニタ46の液晶表示面はモニタ本体46Cの正面側に配置した構成としているが、液晶表示面はモニタ本体46Cの背面側に設けてもよい。この場合、撮影時にはモニタ本体46Cを起立させて使用する。そして、携帯時にはモニタ本体46Cを折り畳んでカメラ本体1の背面部に位置させる。これにより、携帯時にはコンパクトな構成になるとともに、液晶表示面がモニタ本体46Cの内側に位置するので、キズなどから保護されるようになる。

【0034】ユーザーは目的に応じて電子ビューファインダー42や2インチLCDモニタ44、4インチLCDモニタ46を選択してカメラ本体1に装着する。また、これらを用いずにカメラ本体1に備えられた光学式ファインダーを使用して撮影することもできる。前記ストロボ48は、下部に備えられたアタッチメント48Aをカメラ本体1の上部に設けられたホットシュー40に差し込むことによりカメラ本体1の上部に装着される。また、この装着と同時にアタッチメント48Aに設けられた端子がホットシュー40に設けられた端子と接続され、リリースボタン9の押し操作に同期して発光するように構成されている。

【0035】カメラ本体1のグリップ部分には、バッテリー装着部1Aが形成されており、このバッテリー装着部1Aにバッテリーパック50、乾電池アダプター52及び大容量バッテリーパック54が、それぞれ選択的に取り付けられるように構成されている。そして、このバッテリー装着部1Aにバッテリーパック50、乾電池アダプター52又は大容量バッテリーパック54が取り付けられることにより、カメラ本体1のグリップが形成される。

【0036】ここで、前記バッテリー装着部1Aはアリ状の溝で形成されており、このアリ状の溝にバッテリーパック50の背面に形成されたアリ状の凸部50Aをカメラ本体1の下側からスライドさせて差し込むことにより、バッテリーパック50がカメラ本体1に装着される。そして、装着されたバッテリーパック50は図示しないロック手段によりカメラ本体1に一体的に固定され

る。

【0037】乾電池アダプター52も同様にしてカメラ本体1に着脱自在に取り付けられる。なお、この乾電池アダプター52は、下部にキャップ52Aを有しており、このキャップ52Aを開けて内部に乾電池を装填できるように構成されている。また、大容量バッテリーパック54の場合は、さらにカメラ本体1の下部に形成されている三脚用止ねじ穴（図示せず）に固定用ネジ54Aでネジ止めしてカメラ本体1に装着する。

【0038】ユーザーは使用目的に応じて、これらの各バッテリーを選択してカメラ本体1に装着する。カメラ本体1の下部には、拡張ユニット56の装着ができるように構成されている。拡張ユニット56は、端子56Aをカメラ本体1の下部に形成された図示しない拡張端子に接続し、三脚用止ねじ穴（図示せず）に固定用ネジ56Bでネジ止めしてカメラ本体1に装着する。この拡張ユニット56を装着することにより、カメラ本体1の機能が拡張し、連写ができるようになったり、カメラ本体1とパソコンとを接続できるようになったりする。

【0039】カメラ本体1のレンズ鏡胴3には、アクセサリホルダー58、コンバータレンズ60、リングライトマクロレンズ62、フィルム入力アダプター64が装着できるように構成されている。ここで、レンズ鏡胴3の両側部には所定幅の凹部3A、3Aが形成されており、該凹部3Aには溝3Bが形成されている。一方、アクセサリホルダー58は筒状に形成されており、その両側部に前記凹部3Aに嵌合する突片58A、58Aが形成されている。そして、この突片58A、58Aを前記レンズ鏡胴3の凹部3A、3Aに嵌め込むことにより、前記突片58A、58Aの先端内側に形成されている図示しない突起が、前記凹部3A、3Aに形成された溝3Bに嵌まり、アクセサリホルダー58がレンズ鏡胴3に装着される。他のコンバータレンズ60、リングライトマクロレンズ62及びフィルム入力アダプター64も同様にしてカメラ本体1に装着される。

【0040】なお、リングライトマクロレンズ62は、可撓性を有するコード62Aを介して接続されたアタッチメント62Bをカメラ本体1の上部に設けられたホットシュー40に取り付けることにより、リリースボタン9の押し操作に同期してリングライト62Cが発光する。前記のごとく構成された第2の実施の形態のデジタルカメラシステムでは、ユーザーの目的に応じて、種々のアクセサリキットを装着することにより、様々なカメラを構成することができる。また、各アクセサリキットは、簡単にカメラ本体1に装着することができ、装着してもカメラ本体1は大型化しないため操作性、携帯性が低下することもない。

【0041】なお、以上の実施の形態では、本発明をデジタルカメラに適用した例で説明しているが、撮像素子を備えたカメラであれば銀塩カメラでも同様に適用する

ことができる。

【0042】

【発明の効果】以上説明したように、本発明ではモニタ本体に設けられたモニタ取付部をカメラ本体に備えられたシュー又はカメラ本体に設けた取付用スリットに差し込むと、モニタ本体がカメラ本体の背面部に沿って配置される。これにより、大型化を伴わずにモニタ本体をカメラ本体に装着することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明が適用されたデジタルカメラの正面斜視図

【図2】本発明が適用されたデジタルカメラの背面斜視図

【図3】本発明が適用されたデジタルカメラの背面斜視図（モニタ装着時）

【図4】本発明が適用されたデジタルカメラの要部拡大斜視図

【図5】本発明が適用されたデジタルカメラの他の実施の形態の構成を示す正面斜視図

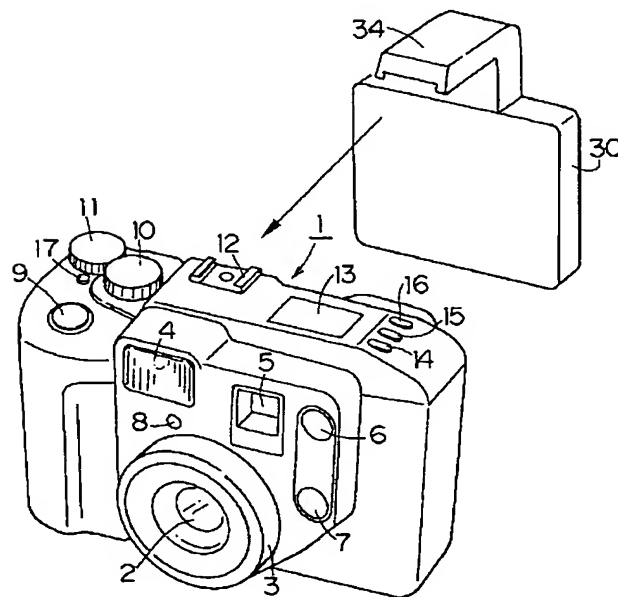
【図6】本発明が適用されたデジタルカメラの他の実施の形態の構成を示す背面斜視図

【図7】本発明が適用されたデジタルカメラシステムの第2の実施の形態の構成を示す説明図

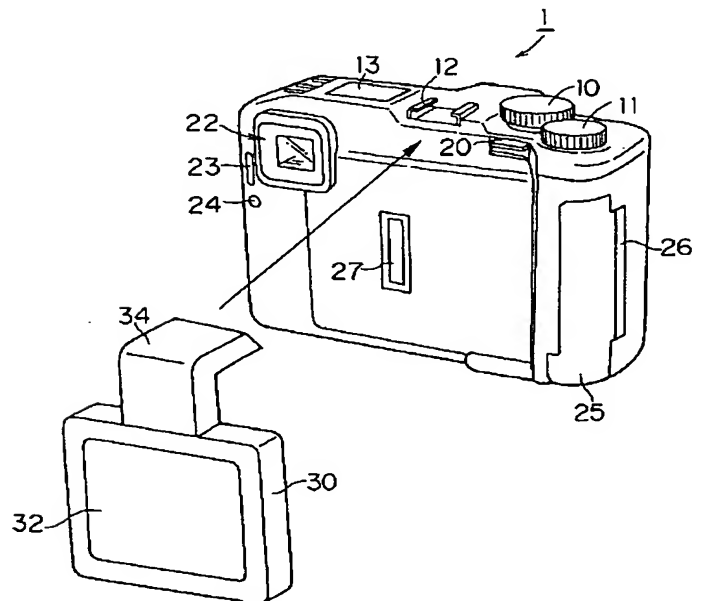
【符号の説明】

- 1…カメラ本体
- 2…撮影レンズ
- 5…ファインダー窓
- 9…リリースボタン
- 12…アクセサリシュー
- 12A…スリット
- 22…接眼部
- 30…モニタユニット
- 32…液晶表示面
- 36、36A…アタッチメント

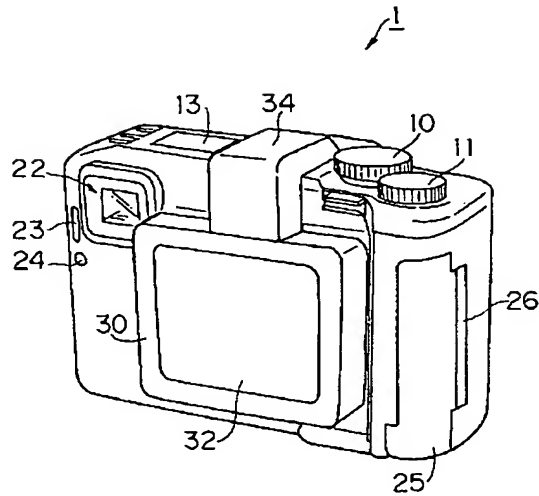
【図1】



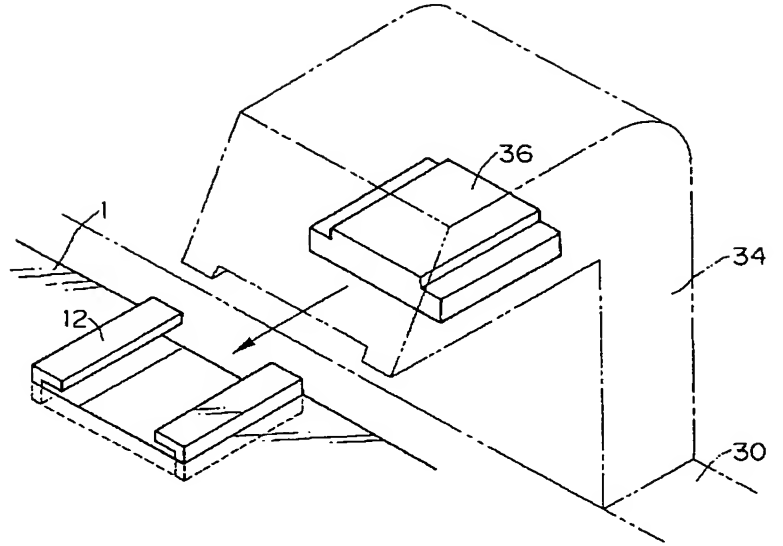
【図2】



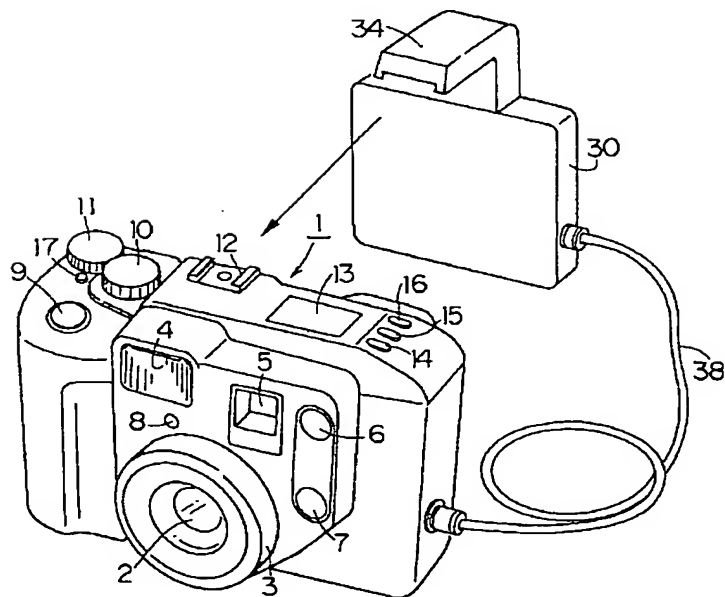
【図 3】



【図 4】

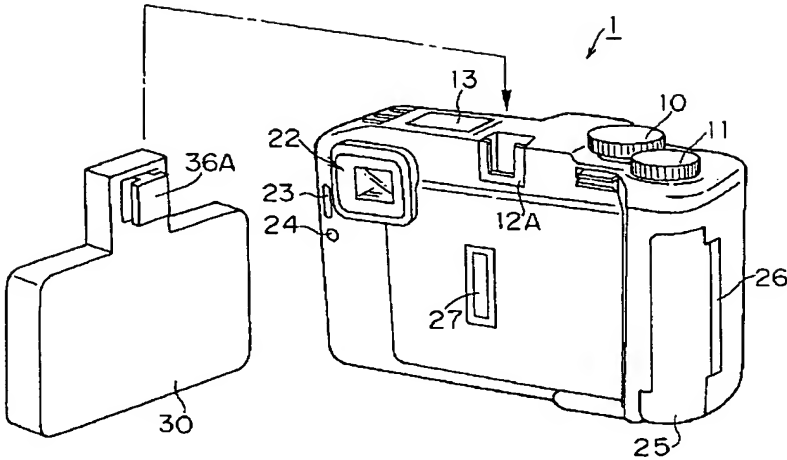


【図 5】





【図 6】



【図 7】

